

# 高知小水力利用推進協議会

## ～活動ご紹介～



四万十町中津川

想定最大出力約1kW 自家消費目的

# 協議会の目的(趣意書より)

- 目的

- 高知県の水資源のうち、エネルギー利用可能なものを幅広く効率的に利用できるように「支援」する
- NPO法人、企業、官公庁、学校など、背景の異なる人たちが自由な発想を語れる「場」を提供する
- 小水力の利用により高知県の「地域社会の自立や強化」に貢献する
- 支援制度の創設や小水力の普及などを、自治体等に働きかけることができる「発信力」を持つ

# 協議会概要

- 任意団体として2011年3月26日に設立
- 役員構成 (2013.06.28現在)
  - 会長: 篠 和夫 (高知大学名誉教授)
  - 副会長: 谷合喜秋 (物部川土地改良区連合理事長)、中越武義 (前梶原町長)
  - 事務局長: 菊池 豊 (高知工科大学)
  - 理事: 11名、運営委員: 19名、監事: 2名
  - 顧問: 尾崎正直 高知県知事
- 会員構成 (2012.07.26現在)
  - 正会員: 55名
  - 情報会員: 13名
  - 賛助会員: 9名
  - 自治体会員: 15 県市町村
- 年間予算: 約30万円 (ほとんどが会費収入)

# 活動要約

- 定例会
  - 運営委員会(毎月開催)、勉強会(毎月開催)
- イベント
  - 2011.03.26 設立総会
  - 2011.09.19 設立記念講演会  
御講演:小林久さま、後藤眞宏さま
- 産官学民連携
  - 高知県新エネルギー導入促進協議会への委員参加
  - 地域主導型再生可能エネルギー事業化検討業務(環境省事業高知県受託)
    - 高知小水協メンバーのコーディネーター参加
    - こうち再生可能エネルギー事業化検討部会内小水力発電検討部会への参加
- 発電可能地点の探索多数
  - 砂防堰堤、用水路、発電所跡、その他普通河川
- 県内各地での小水力利用の啓発活動多数

# 低落差タイプ 三原村



# 低落差タイプ

## 三原村 下ノ加江川 芳井堰 (二級河川)

導水路を使わない場合  
(高知県公営企業局推定)

- 落差6m
- 流量 $2\text{m}^3/\text{s}$
- 最大出力: 約70kW



導水路を用い、かつ  
適切な発電機を使った場合  
(高知小水協推定)

- 落差12m
- 流量 $2\text{m}^3/\text{s}$
- 最大出力: 192kW



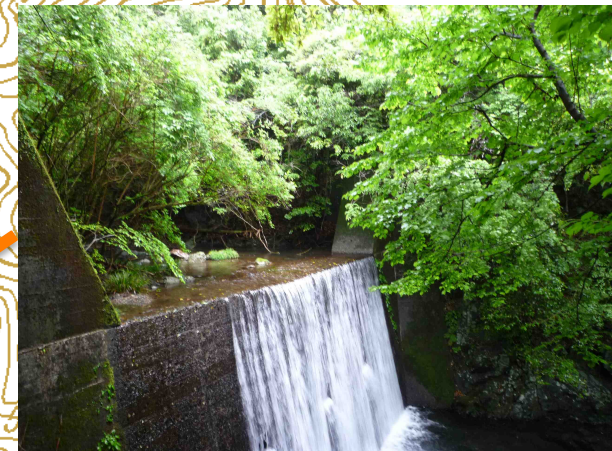
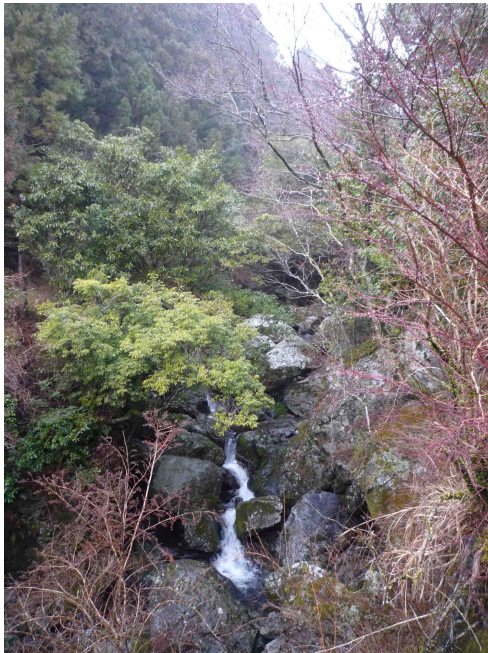
# 高落差タイプ 高知市土佐山地区



# 高落差タイプ 高知市 土佐山 高川川 (鏡川源流 普通河川)

高知小水協推定

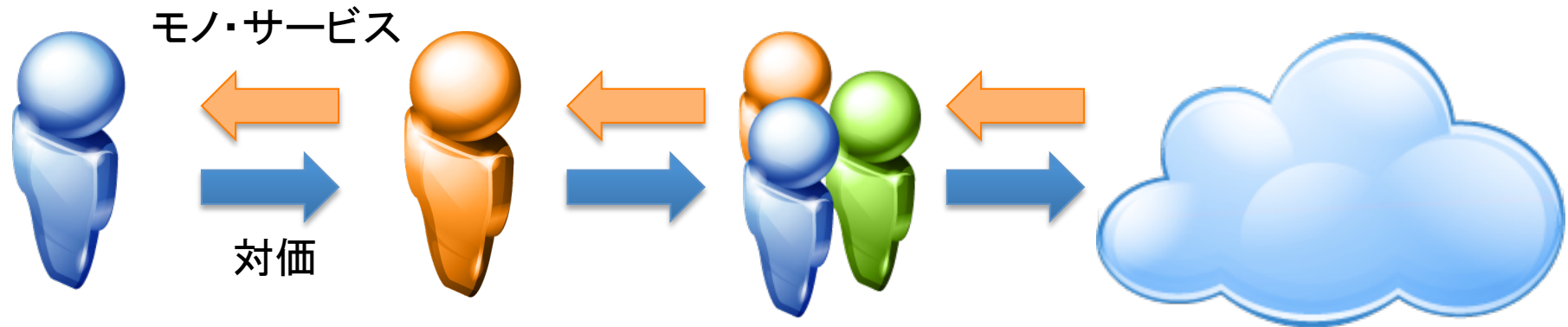
- 落差100m
- 利用流量0.2m<sup>3</sup>/s
- 最大出力: 150kW





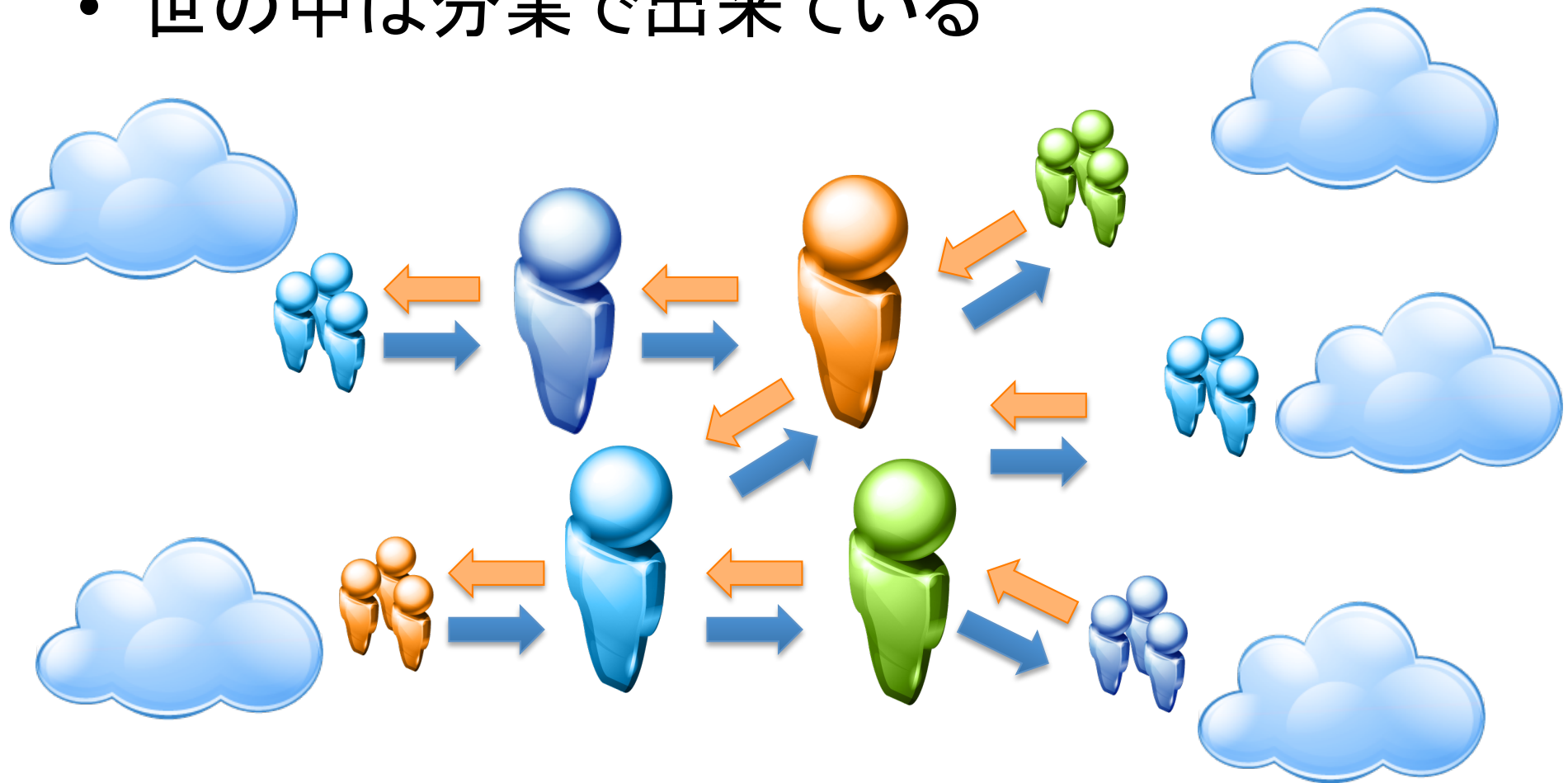
# なぜ自分でやりたがるのか

- 分業... サービスの向こう側は見えない



# 見えないものを考えてみる

- 世の中は分業で出来ている



# サービスの向こう側が見えるとき

- サービスに問題が起こると向こう側に気づく



# 自分出来ることは自分でやりたい

- そういうもんかと、他人に任せていたらこのザマ
  - 自分で出来ることの価値
  - 地域で出来ることの価値
  - 遠くの何か分からないリスクをコントロールできる価値
- 例えばこんな尺度はどうか
  - 出来ることの総和を求める
    - 何か出来ることに対して
      - 自分で出来るなら 1
      - 他人が出来るなら 0 から 1 までのどこか
        - » 直接の知り合いは 1 に近い値
        - » 間接的になる場合は積を求める(遠くなるほど 0 に近づく)

# 地域産品のブランド化でいうと

地域の資源を  
現金化する

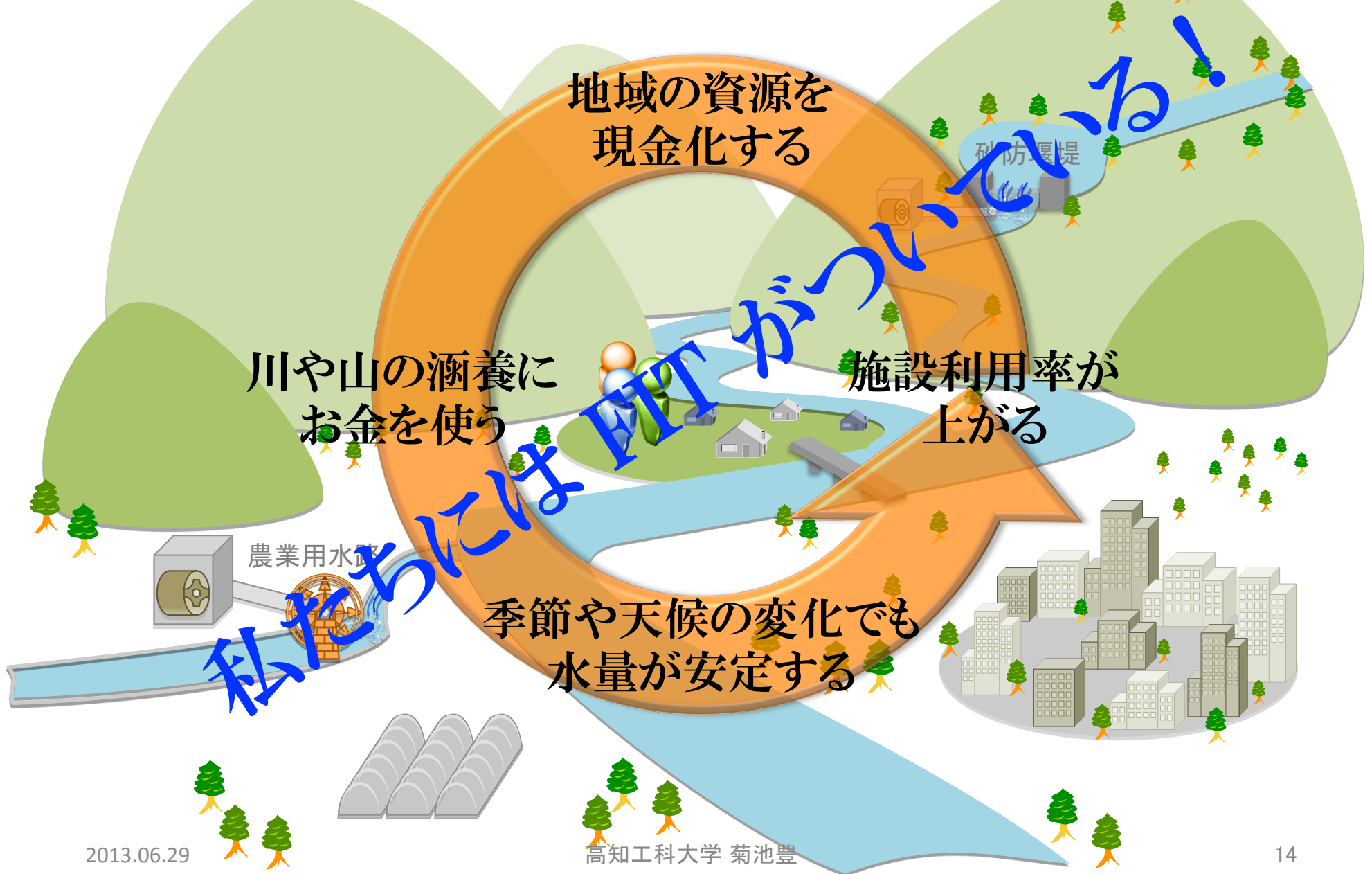
地域のブランド化に  
フィードバックする

利益率と士気が  
上がる

リピータやファンが増える

そんなに簡単にできるかあ！

# 小水力発電で地域を再生する



# じゃあどうする？

- 続きは古谷さんの御発表で